



新技術の活用・評価を推進し、新技術情報提供システム (NETIS) により民間の新技術開発を支援公開しています。

「四国テーマ設定技術」

有用な新技術の登録促進の取り組みとして、「四国テーマ設定の新技術公募」を積極的に活用し、四国発信の新技術の開拓、利用促進を追求し、災害対応技術、構造物保全点検技術、維持管理技術の3テーマに取り組んでいます。

H19～H23年度までに以下のような四国テーマ技術が新技術 (NETIS) として登録されました。

年度	災害対策技術	構造物保全技術	維持管理技術
H19年度	三次元測量技術(8件)	—	—
H20年度	—	橋梁点検足場技術(2件) 保全点検技術(4件)	—
H21年度	—	保全点検技術(3件)	—
H22年度	—	簡易点検技術(2件)	—
H23年度	災害発生時の即日性調査(2件)	簡易点検技術(1件)	管理施設の維持管理技術(5件)

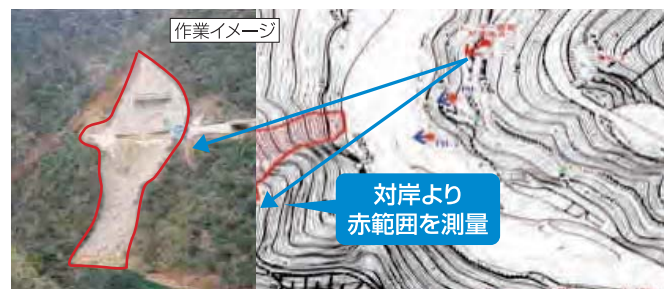
今後は、四国地整におけるニーズを調査し、本局現業課とも連携して下記のテーマ毎に有用な技術の開拓に取り組みます。

□ 災害対応技術

防災力・災害対応力の向上を図る災害対応技術

公募事例：3次元測量技術【右イメージ】

災害時における復旧作業を容易にするため、デジカメ等で撮影した画像から測量図(平面・横断図)を作成する技術



非接触型の測量技術(イメージ)

□ 構造物保全点検技術

重要構造物の現状を簡易に把握できる保全点検技術

公募事例：非破壊調査により鉄筋探査をする技術

【右イメージ】

維持管理における保全作業を容易にするため、各種の鉄筋探査システムを公募し、現地で試験を実施した。



構造物保全点検技術の試行調査状況

□ 維持管理技術

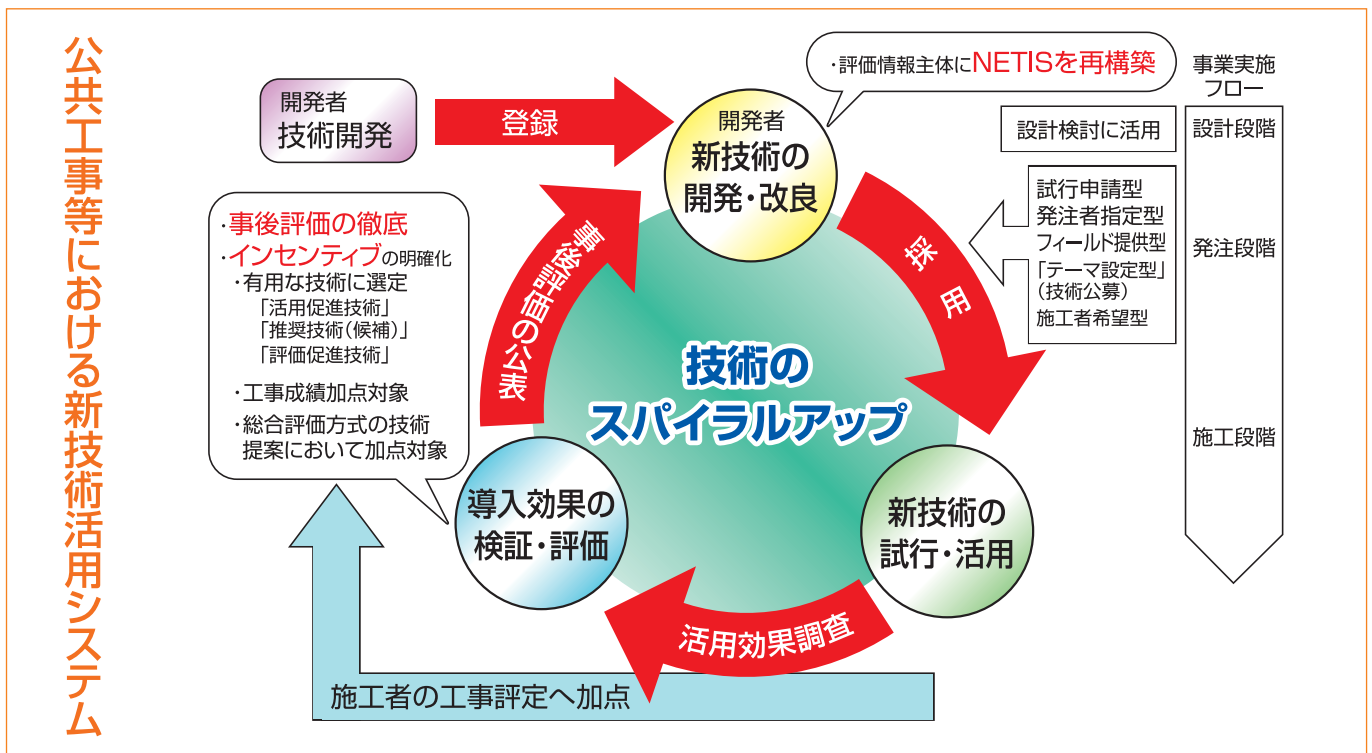
道路や河川の維持管理費が増大していく中で日々の維持管理費を削減できる技術



新技術の活用【NETIS】

- ・国土交通省が運用している新技術（民間等の技術開発）に係る情報を共有及び提供していくためのデータベースです。
- ・登録された技術を現場で活用し、評価していくことで技術のスパイラルアップを図ります。
- ・新技術情報（NETIS）はインターネットで一般にも公開しているため、有用な新技術の情報を誰でも容易に入手することが可能です。

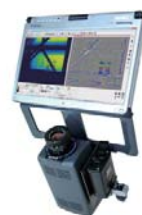
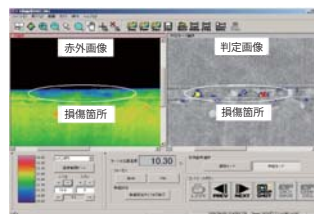
NETIS情報 <http://www.netis.mlit.go.jp/>



赤外線調査トータルサポートシステム Jシステム SK-110019-V【少実績優良技術】

この技術は、離れた場所から、赤外線カメラにより点検対象を撮影し、解析を行なうことで、コンクリートの浮き・剥離を検出する技術で、従来は全面打音点検で対応していたものです。

本技術の活用により、点検箇所の絞り込みが可能となり、高所作業や交通規制が削減でき経済性と安全性が向上します。



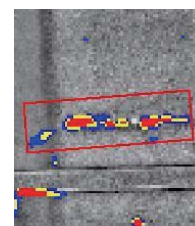
赤外線カメラとJシステム画面



非破壊検査箇所(遠景)



非破壊検査箇所(近景)



Jシステム画像



非破壊検査状況